

日本安全教育学会第24回奈良大会予告

第24回年次学会長

松井 典夫

奈良学園大学 人間教育学部 教授



(略歴等) まつい・のりお 専門は教育課程論、学校危機マネジメント。大阪府公立小学校教諭として勤務後、2005年～2014年の間、2001年に発生した児童殺傷事件後の大阪教育大学附属池田小学校で勤務。学校安全主任として事件後の学校安全推進に取り組み、日本で初めてとなる「安全科」の主任として、安全科カリキュラムの作成に取り組んだ。2014年に奈良学園大学人間教育学部専任講師、2015年、同准教授、2018年より現職。主著に『どうすれば子どもたちのいのちは守れるのか—事件・災害の教訓に学ぶ学校安全と安全教育』（2017年2月・ミネルヴァ書房）。大阪教育大学大学院学校教育専攻修了・修士（教育学）

日本安全教育学会第24回奈良大会

大会テーマ「学校安全への教訓を伝承し、次代の命へとつなぐ学校危機マネジメント」

日程 2023年9月9日(土)～10日(日) (予定) ※変更可能性あり

会場 奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス (奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1)

コロナ禍の収束が未だ見えず、不確実で複雑な状況のなか、日本安全教育学会第23回宮城大会が無事に開催されますこととなり、年次学会長の小田隆史先生をはじめ、ご関係の皆様のご並々ならぬご尽力に、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、来年度の第24回大会は、奈良学園大学を会場に実施させていただくこととなりました。学校法人奈良学園は、奈良県内に2つの幼稚園（奈良学園幼稚園、奈良文化幼稚園）、奈良学園小学校、2つの中・高等学校（奈良学園中学校・高等学校、奈良学園登美ヶ丘中学校・高等学校）、そして奈良学園大学を擁する学校法人です。奈良学園大学は前身の奈良産業大学から改組改称し、教育学部（人間教育学科）と保健医療学部（看護学科、リハビリテーション学科）を設置して2014年に開学しました。人間教育学部は、三郷キャンパスから今年度（2022年4月）、登美ヶ丘キャンパスに近代的なキャンパスを建設し、新たなスタートを切ったところです。したがって登美ヶ丘キャンパスは、幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学を持つ一大One Campusとなったところであり、そこで第24回日本安全教育学会を開催する運びとなったことは感慨一入の思いです。

その奈良市では、過去に幼い子供が被害に遭う悲しい事件が発生しました。2004年11月に発生した奈良小1殺傷事件です。この事件で、下校中に連れ去られ、幼い命を奪われた女兒は私たちに「登下校の時間帯の危険」という教訓を遺してくれました。それ以来、全国にスクールガードが結成され、子供たちの登下校が見守られるようになったことは言うまでもなく、教訓が次代の命に伝承された先例と言えるでしょう。しかし、教訓の伝承は待っていても継承されていくものではありません。阪神・淡路大震災から27年、池田小学校事件から21年、奈良小1殺傷事件から18年、東日本大震災から11年。これらの年月の経過は、「だれが」「なにを」「どのように」伝承するのかという問いを私たちに突きつけます。第24回大会では、テーマを「教訓の伝承」に置き、過去の事件や災害に対して、学校、教育、教師が見つめてきた「脆弱性」を検証し、次代の命へとつなぐ「反脆弱性」への転換について検討したいと思います。学校教育現場から、そして研究者からの知見や研究成果の共有を通して、これからの学校安全、子供たちの命に繋がっていく機会となりますよう、今後、当地の会員を中心に実行委員会を組織し、しっかりと準備を進めて参ります。

最後になりましたが、皆様のご健勝と一刻も早いパンデミックの収束を心より祈念申し上げます。

(お問い合わせ先)

事務局 奈良学園大学人間教育学部

電話 090-8126-8882(松井典夫)